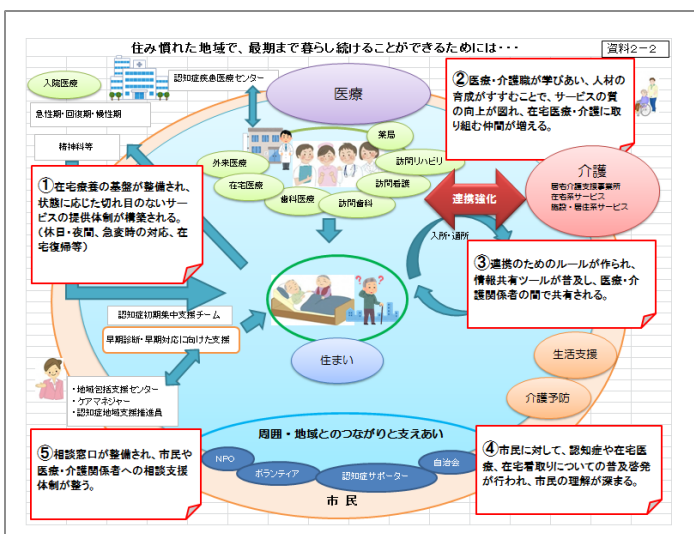


第3回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

平成 29 年 12 月 14 日(木) 開催

第 3 回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会が 12 月 14 日(木)に開催されました。今回は、認知症初期集中支援チームの活動内容の検討、在宅医療・介護連携や認知症対策における課題の抽出作業を行いました。会議資料および議事録については、市ホームページでご覧いただけます。



市では、「医療と介護が必要になっても、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしが最期までできている」をめざす姿とし、その実現のための5つの中期的目標をたてました。

①在宅療養体制の構築、②在宅療養に関わる仲間を増やす、専門職の関係構築・資質向上、③連携ルールや情報共有ツールの運用により、関係機関の連携が密に図れる、④市民の理解の促進、⑤相談支援体制の整備です。

今回は目標に関連する課題の洗い出しを行いました。次回からは課題解決に向けた取り組み方針についての検討に移ります。

課題別ワーキング活動報告

認知症対策WG

- 当事者支援の場「ひだまりカフェ」の検討をしています。
- 家族支援についてのアンケート案を検討しています。
- 認知症の周知啓発としてふるさとまつりで「メモリーウォーク」を実施しました。

救急時情報連携WG

WGで検討を重ね、『救急医療情報シート』(自宅用・介護施設用)が完成しました。市内外の医療機関に周知を行い、12月1日から運用を開始しました。今後、介護施設向け説明会の開催を予定しています。

多職種連携研修企画WG

12月19日に「摂食嚥下機能に障害がある方への支援のあり方」をテーマに研修会を実施しました。職種ごとの役割や多職種で支援することの重要性の認識を深めることをねらいとしています。

11月16日(木)に在宅医療・介護連携の取り組み先進地として知られている柏市の「柏地域医療連携センター」へ協議会委員8名の方々と事務局で視察に行きました。取り組みを始めた当時の様子や現状などを伺うことができ、たくさんの刺激を受けました。今後の取り組みに活かして参ります。

